

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（平成24年度第1回）議事録

日時：平成24年6月11日（月）14：30～17：30

場所：岡山県立玉島高校 応接室

参加人数：7名（神田・東根・小橋・加茂・永井・福森・木下）

司会：神田（岡山東商業）・記録：永井（津山工業）

1. 開会

2. 協議・報告

（1）県立図書館による学校図書館支援用図書について（福森）

- ・H24年度も選定を行う予定。県立図書館より今年度選定するテーマについて連絡あり（6月末予定）。
- ・H24年度の選定方法 司書部会MLで支援用図書の選定について流す。希望図書のリストを担当（福森・田川）まで送ってもらう（夏休み明けの予定）。
- ・要望と問題点
「利用が集中するセットがある（進路関係など）。複数セットをもっと作ってほしい。」
「県立図書館のHPで学校セットのリストが見つらく本を探しにくい。」
「セット数がどんどん増えているが、内容を見直したいセットもある。利用が少ないセットもある。セットの数と内容を精選すべき。」

（2）高等学校間横断検索・相互貸借について（神田）

◆横断検索システムについて

- ・横断検索の試行については未定。今年度当初に数校で試行予定であったが県立図書館の事情により延期になっている。

◆相互貸借

- ・「学校図書館実務の手引き」に規程をもちこむ方向。

（3）高等学校図書館間サポート事業について（加茂）

- ・平成24年度の異動・転勤に伴う組み合わせの見直しを行い、今年度のサポート開始。
- ・今年度もサポート事業に関するアンケート実施予定。アンケートのことを支部に伝え、サポート内容の記録を各自するように連絡（特に、サポート以前・以後の写真を撮っておく）。
- ・サポートの派遣文書を出せる範囲についてMLで連絡した。

【サポートの派遣文書の使用範囲】

- ①サポートを受ける学校が、サポートに来てほしい人に出す文書なので、必要であれば組み合わせ以外の学校の人に出してもよい（地区を越えても可）
- ②ただし旅費が発生するので、サポートに行く方にはしっかり技術支援・力仕事をお願いしたい（「ただ見に行きたい」は不可、文書には何をサポートしてほしいかを明記してください）

(4) 岡山県高等学校図書館HPの管理・運用について（東根）

◆HPについて

・今年度4月にHPが閲覧できない状態があった。今年度分の支払いが事務局校の異動など諸事情により4月までに処理できなかったため。→来年度以降は契約期間を7月～翌年6月までにずらすなど、継続可能な形を検討する必要あり。事務局には木下さん、契約会社には東根さんが相談する。

◆司書大賞（仮称）について

【発案の経緯】

備前支部から「本屋大賞のような賞を司書部会でもやってみたい」という声があり、3支部で行ってはどうかという案からネット研で司書大賞（仮称）について検討することになった。

- ・他県の高校図書館で司書が選ぶ大賞の事例あり。神奈川県・鳥取県・埼玉県。
- ・司書大賞（仮称）を行うなら、選考基準などをきちんと決めるべき。

【今回の話し合いで出た意見】

☆開始時期：案①今年度から始める。案②今年度は計画を立てて来年度から始める。

☆名称について：案①「〇〇年のイチオシ本」。ネーミング募集中です。

☆コンセプト：コンセプトの設定は必要。案①高校生に読んで欲しい本を選び読書の素晴らしさを広める。案②本屋大賞に対抗して司書も本の素晴らしさをアピールする。案③投票者を生徒にも広げることで、今現在の高校図書館で本当に読まれている本を選ぶ。受賞作品には生徒から表彰をしてもらう。

★選定対象：1年以内に出版された本。ジャンルは小説と小説以外に分ける。

★賞の発表：第4回司書部会（合同研修）のとき。

★選定方法：ノミネート式。大賞を決めるか、何位まで決めるか。

★投票方法：HP上で投票。投票時期は未定。

★参加者：案①岡山県の高校図書館関係職員（司書・司書教諭など）案②生徒も含める。案③「学校図書館をこよなく愛する〇〇」など幅広い参加者にする。

※司書大賞（仮称）については第2回ネット研にて継続検討し、詳しい内容を決めていく。

(5) 司書部会3支部合同研修会について

◆平成24年度第1回合同研修会の反省

- ・県立図書館とのやり取りがうまくいかなかった。事前の打ち合わせ不足で資料の配布などで混乱があった。
- ・県立図書館の時間と司書部会の時間は午前・午後で分ける方がよいのではないか。スケジュールが複雑だった。
- ・搬送便の説明会と合同研修会を同じ日に行ったのは良かった。出張回数が減り臨時の司書にとっては参加しやすかった。

◆平成25年度第1回合同研修会の日程案

	初任者の司書	正規・継続の司書
10:00~12:00	県立図書館 搬送便説明会	
13:00~14:30	初任者研修	各支部（もしくは合同）研修 および全体協議
14:40~16:00	各支部ごとのフリートーク 各支部の基本情報アンケートセット	
16:00~16:30	基本情報アンケートを合わせる	

◆平成24年度第4回司書部会合同研修会について

- ・日程 平成24年12月10日（月）
- ・会場 未定⇒会場費がかかるので、岡山市内の高校でできないか。
- ・内容 山陽新聞社に講師をお願いする。新聞作りにおける情報の取り扱いや新聞の特性とメディアリテラシーについて。ワークショップは新聞作り（同じデータからそれぞれが新聞を作り、比較する）を行う予定。

・日程案

9:30~	受付
10:00~11:00	N I E 研修（3支部合同） 『新聞作りにおける情報の取り扱いについて』（山陽新聞社）
11:00~12:00	ワークショップ
12:00~13:00	昼休憩
13:00~16:00	各支部研修

(6) 『学校図書館実務の手引き』改訂について

◆使い方について

- ・バインダー形式にして改訂があった場合差し替えをする。バインダーは各校で次の司書に引き継ぎをする。バインダーの配布は今年度12月の合同研修の予定。
- ・手引きはHP上でダウンロードする形にして、各自でプリントアウトしバインダーに閉じる。臨時の司書のところはネット研で用意する。改訂作業が途中のままでも、バインダー形式に移行する。

◆内容について

- ・初任者向けの「スタートガイド」のページを作ってはどうか。初任者研修の資料を兼ねて作る。
- ・全体的に手引きの文章がかたく分かりにくい。
- ・図や写真をもっと入れたい。レイアウトや図書館改造計画の実践例など。
- ・改訂版の名称は『新・学校図書館実務の手引き』でどうか。
- ・「刊行によせて」「編集後記」を誰にお願いするか。

◆改訂作業について

- ・現在各支部で改訂箇所があるかどうかの点検を行っている。
- ・明らかに変更の必要があるものから改訂していく。

- ・夏休み前に原稿を書く担当を決め、10月末に一度原稿を締め切る。その後ネット研内で意見を出し合い編集作業を行う。
- ・改訂ができたところまでを11月中旬に印刷しバインダーに組む（初任者・臨時用のみ）。正規司書は12月の合同研修会でバインダーを受け取った後、各自で印刷しバインダーに組む。

3. 代表役員会報告（神田）

昨年の活動報告と今年度の予定、現状報告をした。搬送便については市立学校が使えない状況を訴えた。今後も状況をまとめて伝えていく。

4. その他（次回日程等）

第2回ネットワーク研究委員会：8月上旬予定

第3回ネットワーク研究委員会：11月予定

5. 閉会

☆各地区の司書部会に通知・話し合い事項

- ・サポート校について…アンケートのお知らせとサポート記録をお願いします。
- ・支援用図書について…県立図書館からの返事次第（ML 要チェック）
- ・横断検索システムについて…県立図書館からの返事次第（ML 要チェック）
- ・『実務の手引き』の改訂について…夏休みまでに原稿の担当を決める。原稿の締め切りは10月末。
- ・司書大賞（仮称）について…ネーミング募集。選考基準などについても意見を求めていく。